

令和元年度第1回 沖縄県地域年金事業運営調整会議 議事要旨

開催日時：令和元年6月6日（木） 14：00～16：00

開催場所：メルキュールホテル沖縄那覇

出席者：委員11名

日本年金機構9名

議 事

1. 開会 那覇年金事務所副所長

2. あいさつ 那覇年金事務所長

〃 熊本東年金事務所長

3. 委員紹介

委嘱状交付

4. 議事

議題1 平成30年度の沖縄県地域年金展開事業の取組結果について

【資料2 沖縄県地域年金事業運営調整会議】

事務局より資料2 P5～P26までを説明、各委員より意見・質問・要望をいただき今後の取組に活かしていくこととした。

議題2 令和元年度の沖縄県地域年金展開事業の事業実施計画等について

【資料2 沖縄県地域年金事業運営調整会議】

事務局より資料2 P27～P37までを説明、各委員より質問・意見・要望をいただき今後の取組に活かしていくこととした。

【主な意見・要望・質問】

（上原委員：国年基金）

市町村職員研修については、国民年金担当職員が受講しているとのことだが、市町村国保担当者などへの説明会等を検討してはどうか。

（事務局）

市町村との連携を図り、国民年金担当職員以外への年金説明会実施を検討したい。

（仲村委員：社会保険協会）

沖縄県内のエッセイ応募が0件になっているのはさみしい。

社会保険協会発行の「社会保険おきなわ」5月号に厚生労働大臣賞の作品を掲載したが、エッセイの内容が素晴らしかった。「社会保険おきなわ」は毎月 7,600 部発行しているので、エッセイ募集のチラシの折込み等で協会としてもエッセイ募集の協力ができる。

(事務局)

ぜひご協力をお願いしたいので、後日具体的なご相談をさせていただきたい。

(名嘉座委員長：沖縄国際大学教授)

エッセイ募集は学校を通じてアプローチしているのか？

(事務局)

ポスター・チラシが 6 月にできるので、そのあとに高校と専門学校に配布しているが、文書だけではなかなか集まらない状況。

(座長)

賞金があれば学生もお応募するのではないかな。

(事務局)

賞金はないが受賞者は東京で行う全国授賞式典で記念品を贈呈している。その際はマスコミもきて報道してもらっている。

(新垣委員：社労士会)

去年は社労士会の理事を中心に地域型年金委員 18 名委嘱した。今後も増やしていければいいと思っている。

(清原委員：厚生局)

社会保険適用事業所や PTA に対する説明会の案内方法や実績を教えてもらいたい。

また予約相談の実績が倍増しているが、何か効果的な取り組みを行ったのか。

(事務局)

社会保険適用事業所については、広報誌「社会保険おきなわ」に説明会の案内をしている。また、PTA への説明会は支援学校からの依頼により行った。今年度は普通高校からも依頼があり、徐々に「年金セミナー」が浸透していると感じている。

予約相談については、ターンアラウンド方式の年金裁定請求書に、年金相談で来所する際は必ず予約の上来所いただくよう案内している。

市町村や金融機関窓口でも予約相談制チラシを設置していただいている。また、お客様からの電話でも来所の際は必ず予約いただくよう案内している。

(当山委員：那覇市)

前回の会議で多言語サービスについて話をしたところ、先日そのことについての調査があった。さっそく対応して頂いたことにお礼申し上げたい。

年金エッセイ募集については、市町村窓口でもポスターを貼ることで協力できる。これは要望だが、先日開催された「年金生活者支援給付金」の研修会は各市町村から1名限定だったが、複数名参加した方が伝達や情報共有できるので、複数名での参加もできるようお願いしたい。

(事務局)

ポスターは6月中旬に届き次第、全市町村に配布したい。

「年金生活者支援給付金」は厚労省主催だったので、今後このような研修には複数名参加できるよう要望していきたい。

(城間委員：沖縄市)

地域相談事業で沖縄市は1名となっているがこれは予約制なのか。

(事務局)

出張相談は予約制ではなく会場に来られた方が相談されたもの。

(城間委員：沖縄市)

出張相談が事前に分かれば、市でも周知することができるので、情報提供いただきたい。また、年1回ではなく複数回できないか。(要望)

(事務局)

出張相談は各年金事務所で四半期ごとに計画を立てているので、管轄の年金事務所と調整していただくことになる。

(城間委員：沖縄市)

年金事務所がどのような取り組みをしているか理解するために、地域年金事業運営調整会議の資料を県内全市町村に情報提供してはどうか。

(事務局)

本会議の資料については、議事録作成後に県内全市町村へ送付する予定。

(名嘉座委員長：沖縄国際大学教授)

前回まで国民年金事業に関する資料があったが、なぜ今回は資料を載せていないのか。

(事務局)

前回の国民年金事業に関する資料は平成29年度末の納付率等を使用した。平成30年度の納付率がまだ出ていないため、次回会議で載せる予定。

(新垣委員：協会けんぽ)

国民年金事業等の資料がないと、本会議で何を指すのか課題が見えない。資料があると何が充足して何が足りないのか判りやすい。

広報について、自宅にいる方にも周知できるようマスコミを利用した広報が必要なのではないか。

(事務局)

今年度はローカルラジオ局を活用できないか検討している。ただし予算がないので、公益性を訴えて無料にできないかラジオ局と調整していきたい。

(大里委員：浦添市)

浦添市も市内のローカルラジオ局に行政枠というのがあり、数分間行政情報を流している。無料枠があるかどうかラジオ局と調整してはどうか。

(事務局)

今後調整していきたい。

(上原委員：国民年金基金)

広報の媒体としてポスターもいいが、TVやインターネット等の動画を活用した広報を展開したらどうか。

マスコミへの依頼は記者に対してだけでなく上層部に対しても行ってはどうか。

(事務局)

先日、地元新聞2紙に対してこの地域年金事業運営調整会議の委員として参加いただけないか打診したところ、マスコミは中立的な立場で記事を書くため、委

員として参加するのは難しいとの回答があった。

今後どのようにしてマスコミを通じた周知広報ができるか引き続き検討したい。

(名嘉座委員長：沖縄国際大学教授)

沖縄出身のタレントやアーティスト等を活用し、SNSなどで年金制度に関し発信してもらったらどうか。

(事務局)

広報予算がないので厳しい状況だが、今後の検討課題としたい。

(事務局)

去る4月に県立学校教育課、総務私学課、専修学校各種学校協から各学校に対して、年金セミナー等の実施について周知してもらった。その結果、現在十数校から実施の可否についてアンケートの回答がきている。

実施時期については今後各学校と調整するが、着実にセミナーの周知ができていると考えており、改めてお礼申し上げる。

そこで、年金セミナーの受け入れについて、学校現場としてのご意見と状況を聞かせてもらいたい。

(金城氏（代理）：県立学校教育課)

県立高校では、次年度の年間行事計画の作成を例年1月から2月ごろに行っている。そのタイミングで年金セミナーの案内をしていただければ、学校では検討の余地があるのではないかと。

(座安委員：総務私学課)

セミナー実施の可否については学校の判断になるが、このようなセミナーがあるということを事前に流しておけば、学校側も参考にすると思うので事前に情報提供するのはよいと思う。

(事務局)

わかりました。ご指導いただいた時期にアプローチします。ありがとうございました。

(清原委員：厚生局)

学生納付特例事務法人のアプローチについては、親元から離れて大学に通う学生が多い学校に効果があるのではないかと。

(名嘉座委員長：沖縄国際大学教授)

沖縄では名桜大学が該当するのではないかな。

(事務局)

今後本部と調整しながらアプローチしたい。

(名嘉座委員長：沖縄国際大学教授)

地域型の年金委員名簿を市町村に提供してはどうか。

(事務局)

本人の同意が得られないので提供できない。

(当山委員：那覇市)

地域型年金委員の委嘱について、民生委員や自治会連合会に対してアプローチしてはどうか。

また、年金事務所が説明会や相談会をする際に市町村に情報をもらえれば、前もって住民に周知できるのでその辺は協力できる。

それから、地域年金事業から若干話が逸れるが、市町村では国の補助金を受けて事業を行っているが、補助金申請にかなり労力をかけている。去る 5 月に開催された都市協でも訴えたが、事務方の業務軽減を考慮いただけるとありがたい。

(清原委員：厚生局)

私も都市協であいさつさせていただいたが、確かに「生活者支援給付金」等の事務がかなりタイトなスケジュールとなり申し訳ない。

要望があったことは上に伝えるが、まずはよろしくお願ひしたい。

(大里委員：浦添市)

情報提供になるが、自治会の事務連絡会議が月 2 回あるので、そこでチラシやポスターの配布を依頼してはどうか。

また昨年、大型商業施設での説明会を 1 回開催しているが、今後回数を増やす予定はあるか。

(事務局)

毎年 11 月に年金月間の活動の一環として説明会を行っている。今年は若手職員の意見を取り入れる予定で、その中でどのようなイベントができるか今後検討したい。

(大里委員：浦添市)

毎年 5 月頃に行政相談会があると記憶している。浦添であればサンエー経塚シティで行ったが、浦添市のほかに、税理士、弁護士等による相談を受け付けており、いろいろな方が相談に見えるので、そこで周知してはどうか。

(事務局)

行政相談会には毎回年金事務所からも年金相談担当職員が参加している。特にパンフレット等の設置ブースはないが今後スペースがあれば検討していきたい。

(名嘉座委員長：沖縄国際大学教授)

ほかにご意見がなければ本日の議題は終了します。

事務局は、本日委員から出た意見を今後の事業に活かしていただきたい。

本日はありがとうございました。

(司会)

名嘉座委員長にはスムーズな議事運営をしていただき、ありがとうございました。地域年金展開事業は、委員の皆様のご意見によりこれまで成果を上げてきていますので、委員の皆様には引き続きご協力くださいますようお願いいたします。最後に「その他」として「年金生活者支援給付金」について事務局から説明します。

(事務局)

お手元に「年金生活者支援給付金」のパンフレットをお配りしていますのでご覧ください。

「年金生活者支援給付金」は、本年 10 月に予定されている消費税引上げ分を活用して、公的年金の収入や所得額が一定基準以下の年金生活者の生活を支援するために年金に上乗せして支給されるものです。

本年 9 月頃、年金受給者に対してターンアラウンド式の給付金請求書が送付されます。必要事項を記入して年金機構に送り返すだけで、特に必要書類もありませんので受給者の皆様のお手を煩わせることもありません。

支給要件等につきましては後ほどパンフレットでご確認いただければと思いますのでよろしくお願いいたします。